

	<p><b>テーマは「語り継ごう未来へ 平和と復興を祈って」</b>  <b>練馬区平和祈念コンサートを開催</b>  <b>区民による戦時体験講演も実施</b></p>
<p>と き</p>	<p>平成 28 年 8 月 5 日 (金) 午後 6 時 ~ 8 時 30 分</p>
<p>と ころ</p>	<p>練馬文化センター (練馬 1-17-37)</p>
<p>練馬区は、8月5日(金)午後6時から、練馬文化センターで平和祈念コンサートを開催し、約1,400人が来場した。</p> <p>今年は東日本大震災の発生から5年の節目であるとともに、4月には熊本県を中心に大規模な地震が発生したことから、「語り継ごう未来へ 平和と復興を祈って」をテーマに開催。</p> <p>コンサートでは、2人の区内在住の演奏家が初共演し、音楽を通して平和について考えるひとときとなった。会場では、例年の平和祈念資料コーナーに加えて、被災地から提供を受けた被害状況の写真や区職員による被災地支援の紹介を中心としたパネル展示を新たに実施し、来場者に義援金の呼びかけを行った。</p> <p>また、昨年度に引き続き、区内在住者による戦時体験の講演も実施。今年は山本博三さん(86歳)が、中学生のころに体験した東京大空襲などについて講演した。来場者からは、「初めて戦争を直接体験した方の話を聞いてよかった」「戦争体験者が少なくなっていくなか、貴重な機会となった」「平和な時代に生きられる幸せを実感した」などの声が寄せられた。</p>	



戦争体験者の講演の様子

**【平和祈念コンサート 出演者】**

西江 辰郎(バイオリン)...<sup>たつお</sup>仙台フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経て、平成17年から新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを務める。ソリスト、室内楽奏者としても活動。

山宮 るり子(ハープ)...平成21年にミュンヘン国際音楽コンクール第2位、23年のリリー・ラスキーヌ国際ハープコンクールで優勝を飾る。いずれも日本人として初めての受賞。



平和祈念コンサートの様子

**【戦時体験講演(概要)】講演者 区内在住 山本 博三(やまもと ひろぞう)氏**

- ・生まれは台東区で、中学生の頃に東京大空襲を経験した。空襲では3月10日が有名だが、私がいた所は連日連夜のごとく毎日が空襲警報だった。初めて空襲にあったのは昭和17年4月18日で、小学6年生になったばかりの頃だった。空襲のときは耳と目を指でふさぎ、伏せるだけだった。ただ怖いという思いだった。
- ・3月9日、10日の大空襲のときは、敵機がまず一機で来て、大月上空をぐるぐると旋回中し、こっちに来るか浜松方面に行くかと気をもんでいるうちに、いきなりドカンドカンと焼夷弾が落ちてきた。それから空襲警報が鳴り、千葉県九十九里から数十機が飛んできた。東京ではB29が2000mくらいの高さに降りてきて、約80cmから1mくらいの大さに見えた。今思うと秋の赤とんぼのようで、何十機も空に舞っていた。
- ・3月10日の朝、三筋町で在郷軍人が焼けたリヤカーにマネキンみたいなものを積んでいるのを見て、一緒に行った人に聞いたら焼け死んだ人だと言われた。男か女かの区別もつかず、思い出すだけで手を合わせたくなる。
- ・あの頃を思い出すと今でも怖い気持ちになる。戦争を経験した人も少なくなり、戦争が遠い昔のようになっているが、戦争をしてはいけない、今の平和が貴重なものだということを感じてもらえれば嬉しい。